

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

5月に入つて記録的な夏日が続きました。梅雨に入つて雨の日が続き、天候不順により、体調を崩された方もいるのではないかといふ思います。近年の局地的な集中豪雨や気温の上昇、台風の多発などは、地球の温暖化による異常気象のせいなのかもしれません。本町は比較的災害の少ない町といわれていますが、災害はいつやってくるのか分からぬわけですから、皆さまには日頃より防災意識を持つて万が一に備えていただきたいと思つております。

5月下旬に震度5弱の地震がありました。昨年も「千葉県に地震、長南町で震度5弱」との報道が流れました。それと同時に町職員も自動的に参集することになり、報道陣の取材や町内外からの情報提供や問い合わせに対応することになります。前回も今回もそうですが、本町の震度は震源地に近いところよりも大きくなつてお

り、その原因はわかりませんが、地震計の設置場所が埋立地であるからではないかといわれています。町内の皆さんには揺れを感じていますので、震度5弱といつても、それほどの動搖はなかつたようです。実際被害の報告はありませんでした。

本町には現在、県と気象庁と2か所の地震計がありますが、震度発表はそれぞれの数値の小数点以下を四捨五入して、大きい方の震度を発表することです。今回は県のものが4・5、気象庁のものが4・3であり、四捨五入して県の震度5弱が発表されたわけであります。県と気象庁の地震計については直線で300m弱しか離れておりませんので、今後県の地震計をどう扱うかは調査検討をするということです。

いずれにしても、このことによつて「地震のまち長南」というイメージが広がることのないようにと願つているところです。

SADA^{SMILE}
No.32